

インフォメーションシステム事業の ねらいと展望



下間芳樹*



風間成介**

Scope and Vision of Mitsubishi Electric Group's Information Systems and Network Service

Yoshiki Shimotsuma, Shigeyuki Kazama

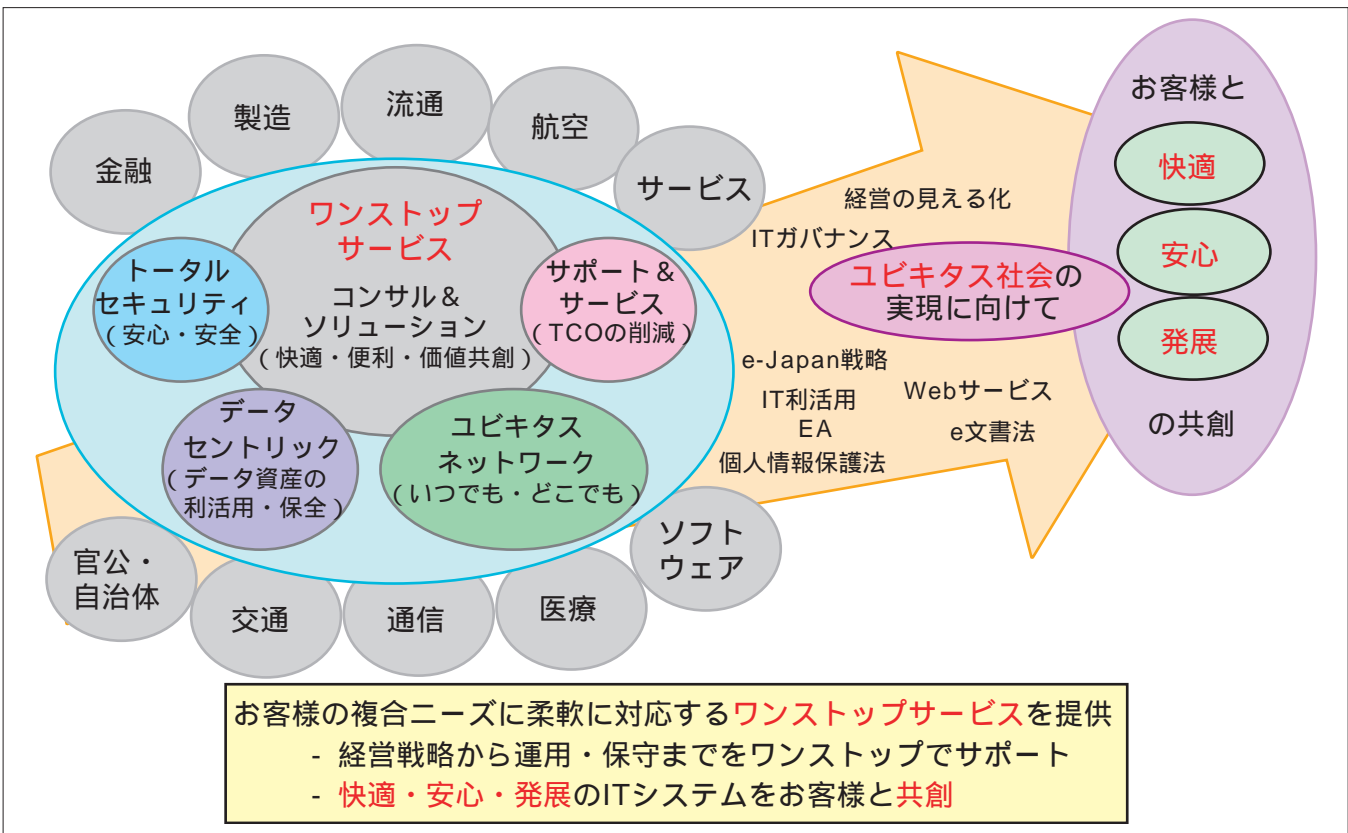
要 旨

ユビキタス社会の実現に向け、インフラ整備とともにIT利活用促進がe-Japan戦略の柱に掲げられている。IT利活用は、三菱電機のインフォメーションシステム事業が目指すワンストップサービス実現の観点でも重要なテーマである。

IT利活用を加速する上で重要なことは、様々な課題に対する最適なソリューションを体系的に整備し、お客様の複合的なニーズに柔軟に対応していくことであり、これに加えて、お客様のIT投資を幅広く活用していくコンサルティング等も重要であると考えている。

当社は、各業種向けITシステムの豊富な導入経験を基に、ユビキタス社会にふさわしい新たなITシステムの実現に向け、経営戦略から運用保守までをワンストップでサポートするEA(Enterprise Architecture)の手法を活用した“快適・安心・発展を支えるITシステムのお客様との共創”を目指す新たなITシステムビジョンを策定した。

本稿では、インフォメーションシステム事業のねらいと展望と題し、当社ITシステムビジョンが目指しているもの及びそれを構成する5つの重点分野ソリューションについて述べる。



三菱電機のITシステムビジョン

お客様の複合ニーズに柔軟に対応するサービスを、経営戦略から運用保守までワンストップで提供することを目標としている。5つの重点分野で構成され、快適・便利・価値共創を目指すコンサル&ソリューション、安心・安全を支えるトータルセキュリティ、データ資産の利活用・保全に資するデータセントリック、いつでも・どこでもをサポートするユビキタスネットワーク、TCO(Total Cost of Ownership)の削減に貢献するサポート&サービスからなる。ユビキタス社会にふさわしい快適・安心・発展のITシステムを、お客様との共創により実現することを旨としたITシステムビジョンである。